

令和2年度 第6回 第12地区教科書採択教育委員会協議会

- 1 日時 令和2年8月6日（木） 午前10時00分から午前11時10分
- 2 場所 芽室町中央公民館
- 3 出席委員
会長 程野 仁（芽室町）
副会長 菅野 勇次（幕別町）
監事 福地 隆（音更町）
加賀 学（池田町）
委員 堀江 博文（土幌町） 小堀 雄二（上土幌町） 大井 和行（鹿追町）
武田 芳秋（新得町） 三澤 吏佐子（清水町） 高橋 雅人（中札内村）
荻原 正（更別村） 板谷 裕康（大樹町） 菅原 康博（広尾町）
山本 芳博（豊頃町） 水野 豊昭（浦幌町） 佐々木 基裕（本別町）
藤代 和昭（足寄町） 有田 勝彦（陸別町）
- 4 欠席委員
なし
- 5 出席した事務局職員（芽室町教育委員会）
学校教育係長 橋本 岳 学校教育係 主事 齋藤 洋平
- 6 オブザーバー（十勝教育局）
教育支援課長 吉村 公孝 教育支援係長 横尾 佑一
義務教育指導班主査 山田 圭介
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議

（程野会長）

ただ今から、令和2年度第6回第12地区教科書採択教育委員会協議会を開催いたします。議事に入ります前に事務局から事務報告をいたします。

（事務局：橋本学校教育係長）

本日の会議につきましては、全委員に出席をいただいておりますので、協議会規約第9条第2項に基づき、会議が成立しておりますことを報告いたします。なお、十勝教育局から吉村教育支援課長、横尾教育支援係長、山田義務教育指導班主査に出席いただいております。

（程野会長）

それでは、議事に入ります。協議案第8号 令和3年度から使用する中学校用教科用図書決定について議題といたします。本日は、第4回協議会における調査委員会からの調査研究報告及び質疑、前回第5回協議会の審議で、2者に絞り込みを行った令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、国語から順番に10教科16種目、並びに学校教育法附則第9条に規定する図書について、共通理解のもと、町村の総意で十勝の子どもたちにとって相応しい教科書の選定に向け、さらに審議を深め、決定してまいりたいと思います。なお、本日の会議につきましては、採択の公正確保の観点から、規約第9条第6項にもとづき非公開といたします。ご異議ありませんか。

（委員一同）

異議なし。

(程野会長)

それでは、そのように進めることといたします。

それでは、国語について審議を行います。前回第5回協議会で審議し、教育出版と光村図書の2者に絞り込まれております。前回の協議会で皆さんからご意見をいただいたところですが、今回は1者に決定するため、新たな観点から、ご意見をいただきたいと思えます。ご意見ございませんか。

(山本委員)

はい。

(程野会長)

山本委員。

(山本委員)

国語では、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得することが求められていますが、話や文章に含まれている情報の扱い方において、複数の新聞を比較しながら構成する情報について整理し、それぞれの効果について理解する活動や、和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう学習活動などが取り上げられている教育出版を推薦したいと思えます。

(程野会長)

教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(荻原委員)

はい。

(程野会長)

荻原委員。

(荻原委員)

私は光村図書を推薦します。理由としては、第1学年においては、興味のあることや伝えたいことを分かりやすく説明する活動や、第3学年における、紙面構成を工夫した修学旅行記を編集する活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、全学年において、学習の参考となる資料を掲載するなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されていることから、光村図書を推薦します。

(程野会長)

生徒の学習意欲を高める工夫という観点から、光村図書を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(武田委員)

はい。

(程野会長)

武田委員。

(武田委員)

私は教育出版を推薦したいと思います。その理由としては、第2学年で学習した物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考えながら「ショートショート」を書く活動を踏まえ、第3学年では、中学校での学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がなされていることから、私は教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)

系統的・発展的な学習という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(福地監事)

はい。

(程野会長)

福地監事。

(福地監事)

国語の学習においては、書くことについての能力を身に付けることも重要な要素であります。具体例を基に一般的な特徴を導き説明文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて自己PR文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする学習活動を設定するなどの工夫がなされている教育出版が良いと思います。

(程野会長)

学習活動の工夫という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、教育出版を推薦する意見が多かったので、教育出版に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、国語につきましては教育出版に決定いたします。

続きまして、書写について審議を行います。書写については、教育出版と東京書籍の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(加賀監事)

はい。

(程野会長)
加賀監事。

(加賀監事)

私は、硬筆の取扱内容において、身の回りで見かける文字の表現効果について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く学習活動が設定されている教育出版が良いと思います。

(程野会長)

効果的に文字を書く学習活動という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(藤代委員)

はい。

(程野会長)

藤代委員。

(藤代委員)

私も、「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の形や方向の変化について考えたり、「点画の形」や「点画の方向の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりするように配慮がなされている教育出版が良いと思います。

(程野会長)

考えを広げたり深めたりするような配慮という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(三澤委員)

はい。

(程野会長)

三澤委員。

(三澤委員)

私は、速く書くための筆脈を意識した筆の動き、行書に調和する平仮名を書くための筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける学習活動などが取り上げられていて、「文字を書く力」を高める工夫がなされている教育出版を推薦します。

(程野会長)

「文字を書く力」を高める工夫という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、教育出版を推薦する意見が多かったので、教育出版に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、書写につきましては教育出版に決定いたします。

続きまして、社会の地理的分野について審議を行います。地理的分野については、東京書籍と教育出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(高橋委員)

はい。

(程野会長)

高橋委員。

(高橋委員)

社会科地理的分野では、地域的な課題解決に向けて、将来に繋がる広い視野に立って地域に関わる諸事情や特色を理解することが求められていますが、東京書籍では、身近な地域の調査において、高知県高知市の調査事例を示し、自然や人口、産業、交通などの地理的な事柄に目を向け、調べ学習に必要な技能を身につける「スキル・アップ」の欄を設け、探求的な学習を主体的に進めたり、防災をテーマに課題の整理と解決策を提案するなど、学習を通して地域社会への参画意識を高めるように工夫されていると思いますので、この点から、私は、東京書籍を推薦したいと思います。

(程野会長)

地域社会への参画意識を高めるような工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

地理的分野においては、日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、多面的・多角的に捉えながら、様々な地域の地理的特色を理解することが大切であると考えます。こうした観点に着目して比較させていただいたところ、内容量では、「世界と日本の地域構成」、「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」で、教育出版は前回より6パーセント増となったものの、東京書籍と同じ295ページでした。掲載内容では、東京書籍が、「見方・考え方」や「もっと地理」などのコーナーを設けるなど、興味・関心や学習を深めるなどの様々な

工夫において優れていると判断いたしました。以上のことから、私は、東京書籍がよいのではないかと思います。

(程野会長)

興味・関心や学習を深める工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(水野委員)

はい。

(程野会長)

水野委員。

(水野委員)

「日本の諸地域」とりわけ北海道地方に関する内容について比べてみました。両者とも、厳しい北海道の自然環境から開拓の歴史、大規模農業や漁業など産業の発展、観光振興、さらにはアイヌ民族の文化などを詳しく掲載していますが、内容量では、教育出版が15ページで、東京書籍が12ページとなっており、教育出版の方が写真や説明も多く、郷土に深く関心を持って学べるよう設定されているように感じました。私は、教育出版でもよいのではないかと思います。

(程野会長)

郷土に深く関心を持って学べるよう設定という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(小堀委員)

はい。

(程野会長)

小堀委員。

(小堀委員)

思考力・判断力・表現力の育成に関してですが、東京書籍では、課題解決的な構成と見方・考え方の活用という点において、各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、解決を補助する問いである「探求のステップ」、各単位時間の「めあて」である「学習課題」の3段階に構造化し、細かいステップで思考、判断した内容を適切に表現する力を身に付ける工夫がされているように感じました。このことは生徒の学習意欲を高めることにもつながると思います。これらのことから、私は、東京書籍を推薦いたします。

(程野会長)

生徒の学習意欲を高める工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、東京書籍を推薦する意見が多かったので、東京書籍に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、地理的分野につきましては東京書籍に決定いたします。

続きまして、社会の歴史的分野について審議を行います。歴史的分野については、東京書籍と教育出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(大井委員)

はい。

(程野会長)

大井委員。

(大井委員)

歴史の学習においても、生徒が問題意識や興味・関心を持って学習に取り組むことが大切ですが、東京書籍では、学習の初期段階に「スキルアップ」の欄を設けて、集める、読み取る、まとめるなど、歴史の学習の基礎・基本を提示したり、「見方・考え方」の欄では、学習を深める具体的な作業や活動の仕方を提示するなど工夫されていて、歴史学習に必要な技能が確実に定着できるよう配慮がされていると思います。この点から、私も東京書籍を推薦します。

(程野会長)

学習を深める具体的な作業、歴史学習に必要な技能が確実に定着できるような配慮という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)

はい。

(程野会長)

板谷委員。

(板谷委員)

歴史的分野においては、思考・判断したことを説明したり、根拠を示し議論する力を育成することが重要だと思います。2者を比較しますと、教育出版では、各章の終わりに、「学習のまとめと表現」のページで、その時代の出来事や特色について、自分なりの言葉で説明をする活動を取り入れており、東京書籍では、基礎基本の「学習をふり返ろう」や、まとめ活動で「みんなでチャレンジ」を設けたり、「ピラミッドストラクチャ」、「ウェビング」、「ステップチャート」など多様な活動によって、時代の特色を捉えるように工夫しています。使いやすさや理解の深まりの観点から、私も東京書籍を推薦いたします。

(程野会長)

使いやすさや理解の深まりという観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)

はい。

(程野会長)

佐々木委員。

(佐々木委員)

私は教育出版を推薦したいと思います。教育出版では、「日本の近代化と国際社会」において、ペリー来航後にアメリカとの間で結ばれた条約が日本にとっていかに不利なものであったかを分かりやすくまとめたり、「二度の世界大戦と日本」においては、第一次世界大戦の前後で国際社会や人びとの暮らしがどのように変化していったかなど、深く学べるように工夫されていると感じました。また、全体を通して、判読しやすい配色、文字、レイアウトなどの点について、東京書籍より学習しやすい工夫がなされていると感じましたので、教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)

全体を通して学習しやすい工夫という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(堀江委員)

はい。

(程野会長)

堀江委員。

(堀江委員)

歴史教科書の中で、北海道に関する歴史的事象を掲載して教えることも大切なことだと思います。身近な地域の歴史の観点から、アイヌの人びとの歴史、文化について比較してみますと、両者とも興味深く事象を掲載していますが、東京書籍は、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載しているほか、13世紀以降のアイヌ文化の成立、展開や継承の動き、また、シャクシャインの戦いや北海道旧土人保護法、アイヌ文化振興法の制定の変遷や差別、偏見をなくす取組みなどを、より系統的かつ客観的に記述していると感じました。私は、東京書籍を推薦したいと思います。

(程野会長)

東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、東京書籍を推薦する意見が多かったので、東京書籍に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、歴史的分野につきましては東京書籍に決定いたします。

続きまして、社会の公民的分野について審議を行います。公民的分野については、東京書籍と教育出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(菅野副会長)

はい。

(程野会長)

菅野副会長。

(菅野副会長)

私は、東京書籍が良いと思います。北海道の地域性を考えたときに、アイヌの人たちの歴史・文化等についての取り扱いは重要です。東京書籍は、「差別」という視点からだけでなく、先住民族としての位置付けや同化政策とともに、国際的な関心の高まりに触れるなど、多面的・多角的な学習が展開できるように工夫されています。

(程野会長)

多面的・多角的な学習が展開できるような工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(三澤委員)

はい。

(程野会長)

三澤委員。

(三澤委員)

私は教育出版を推薦したいと思います。現在、国際社会の動きの中で注目されているのが、持続可能な開発目標、SDGsです。教育出版は、教科書全体がSDGsの実現に向かって構成されています。各章ごとに、学習に関連する主なSDGsの項目を明示するなど、具体的で分かりやすい課題やゴールを紹介しています。このように、国際社会の新しい理念や動きを十分に取り入れている点が良いと思いました。

(程野会長)

国際社会の新しい理念等という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅原委員)

はい。

(程野会長)

菅原委員。

(菅原委員)

東京書籍では、地元十勝の芽室町の議会改革が取り上げられており、北海道十勝の事例から地方自治を考察できるようになっていることは、生徒たちにとって身近な教材として学習意欲が喚起されます。また、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載するなど、北海道に住む生徒たちや保護者の関心を高める工夫がなされていますので、東京書籍を推薦したいと思います。

(程野会長)

生徒たちにとって身近な教材として学習意欲が喚起される工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、東京書籍を推薦する意見が多かったので、東京書籍に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、公的分野につきましては東京書籍に決定いたします。

続きまして、地図について審議を行います。地図については、東京書籍と帝国書院の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(福地監事)

はい。

(程野会長)

福地監事。

(福地監事)

地図帳は、一般図だけでなく世界や日本に関するさまざまな資料が載っています。こうした資料を活用することでそれぞれの地域の特色が詳しく見えてきます。帝国書院の地図は、「地図帳の使い方」で3ページを使っていて、より詳しく説明しています。このことから、私は帝国書院の地図がより使いやすく構成されていると思いますので、帝国書院を推薦します。

(程野会長)

さまざまな資料が載っている点から、帝国書院を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(大井委員)

はい。

(程野会長)

大井委員。

(大井委員)

私は、帝国書院を推薦したいと思います。「日本の資料図」において、農業や工業について様々な資料が掲載されており、さらに、世界との結び付きが明示されています。このことは、日本の農業や工業が世界との貿易の中で成り立っていることを深く学ぶことにつながります。よって、帝国書院を推薦したいと思います。

(程野会長)

帝国書院を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(藤代委員)

はい。

(程野会長)

藤代委員。

(藤代委員)

帝国書院では、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に「学習課題」を設け、テーマに沿って考察するなどの学習活動が取り上げられています。このような内容の構成・排列になっているので、私は、帝国書院の地図を推薦します。

(程野会長)

帝国書院を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、帝国書院を推薦する意見が多かったので、帝国書院に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、地図につきましては帝国書院に決定いたします。

続きまして、数学について審議を行います。数学については、東京書籍と教育出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(荻原委員)

はい。

(程野会長)

荻原委員。

(荻原委員)

私は、東京書籍を推薦します。理由としては、数学科においてもカリキュラム・マネジメントが重要課題とされる中で、東京書籍では、他教科と関連のある題材に「教科関連マーク」を示し、教科横断的な学習の参考になるように工夫するとともに、「D」マークのついた箇所では、関連する他教科の教科書紙面をデジタルコンテンツを使って閲覧できるようにするなど、随所にカリキュラム・マネジメントの重要性を感じられる工夫があることから、東京書籍を推薦いたします。

(程野会長)

カリキュラム・マネジメントという観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(山本委員)

はい。

(程野会長)

山本委員。

(山本委員)

私も東京書籍を推薦したいと思います。数学科においては、必要な資質・能力を育成するため、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習展開が重要です。その中で、より生徒自ら課題意識をもち、解決を図るとともに、「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を意識づけることにより、考える力や学びに向かう力などを高める工夫がなされている東京書籍を推薦したいと思います。

(程野会長)

考える力や学びに向かう力などを高める工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)

はい。

(程野会長)

佐々木委員。

(佐々木委員)

私は、教育出版を推薦したいと思います。今日の学校教育においては、教育課程における小中の接続とともに、中1ギャップの解消を図る配慮が求められています。その観点から、巻末に学びのマップを新設し、小学算数の既習内容を確認でき、学習内容の系統性を示すとともに、1学年では、「算数から数学へ」を設け、算数から数学への拡張を扱うなど、特に、小中の接続や中1ギャップの解消に配慮している教育出版が良いと思います。

(程野会長)

小中の接続や中1ギャップの解消への配慮という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(堀江委員)

はい。

(程野会長)

堀江委員。

(堀江委員)

数学科では、生徒の「わかる」「できる」を確かなものにするため、問題解決的な学習を進め、「知識・技能」が身に付くようにしていくことが求められています。そのため、各学校段階を通じて、実社会との関わりを意識した数学的活動の充実を図ることが必要です。この視点から、「Q」から始まる数学的活動を促す「考えてみよう・調べてみよう」などで、生徒が既習を生かして、新たな知識・技能と関連付けて深く理解し、様々な場面で活用できる技能へ高める工夫がなされている東京書籍を推薦したいと思います。

(程野会長)

様々な場面で活用できる技能へ高める工夫という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、東京書籍を推薦する意見が多かったので、東京書籍に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、数学につきましては東京書籍に決定いたします。

続きまして、理科について審議を行います。理科については、教育出版と啓林館の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

今日、理科における防災・減災にかかわる資質・能力の育成は、重要な視点となりますが、その中で、多くの動植物や自然環境を紹介し、自然の共通性・多様性と豊かさに目を向けるとともに、天気の変化がもたらす恵みと災害にかかわる事例について考察させ、さらには、「防災減災ラボ」では、自然災害の仕組みや影響、また、備えるための技術や取組などを紹介し、当事者意識をもたせる中で、他者との協働にも配慮がされている啓林館を推薦します。

(程野会長)

防災・減災にかかわる資質・能力の育成という観点から、啓林館を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(武田委員)

はい。

(程野会長)

武田委員。

(武田委員)

理科において、求められる資質・能力を育成するためには、科学的に探究する学習活動を充実することが必要です。その中で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する学びを重視し、単元ごとに「探Qシート」を設け、生徒の活動をサポートするようにするとともに、自ら考える場や対話的な学びの場として、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」、さらには、生活の中の何気ない疑問を、対話を通して解決する場として、「みんなで解決」を設けるなど、様々な配慮がなされている啓林館が良いと思います。

(程野会長)

科学的に探究する学習活動という観点から、啓林館を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(加賀監事)

はい。

(程野会長)

加賀監事。

(加賀監事)

理科においては、興味関心を高め、基礎学力の定着を図ることが必要です。その中で、教育出版は、学習内容と十勝管内にゆかりのある人物や名所等を多く取り扱っています。また、疑問、課題、仮説、計画、観察・実験、考察、結論の7つを学びのステップとして整理するとともに、小学校の既習事項は、「思い出そう」マークをつけて、小中の接続を図り、さらには、「要点チェック」や「要点と重要語句の整理」、「基本問題」で知識・技能の定着を図る工夫をしていることから、教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)

興味関心、基礎学力の定着という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅原委員)

はい。

(程野会長)

菅原委員。

(菅原委員)

理科の教科書においては、学ぶ意欲を高め、探究しようとする態度を育てる中で、科学を学ぶ有用感を育て、基礎・基本や科学的な思考力・判断力・表現力等を高めるなど、学び続ける姿勢を育てる教科書が必要であると考えます。この観点から、取り扱い内容や構成・排列等を総合的に判断し、啓林館を推薦したいと思います。

(程野会長)

取り扱い内容や構成・排列等を総合的に判断し、啓林館を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、啓林館を推薦する意見が多かったので、啓林館に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、理科につきましては啓林館に決定いたします。

続きまして、音楽の一般について審議を行います。音楽の一般については、教育出版と教育芸術社の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(三澤委員)

はい。

(程野会長)

三澤委員。

(三澤委員)

音楽は、音楽の良さや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする力を育成すること、そして、生涯にわたって音楽文化に親しむ態度を育むことが大切です。教育芸術社、教育出版の両者とも、全学年を通して基礎的な事項の確認や理解が深まるように工夫されておりました。どちらも特色のある教科書だと思いますが、

私は、生徒の取り組みやすさの観点で優れていると思われる教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)

生徒の取り組みやすさという観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(水野委員)

はい。

(程野会長)

水野委員。

(水野委員)

教育出版の音楽一般では、「音楽を形づくっている要素」について、どんな特徴があるか実際に音楽を聴いて話し合う場面を設定したり、歌についても、曲想の変化を感じて歌ったり、歌詞の内容を味わいながら歌ったりするなど、感じ取った気持ちを表現する歌い方の工夫があり、基礎・基本的な知識や技能を学ぶことができるよう配慮されていますので、私も教育出版を推薦します。

(程野会長)

教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(高橋委員)

はい。

(程野会長)

高橋委員。

(高橋委員)

教育出版の音楽では、学習内容に示されている「表現」や「鑑賞」に関する能力を育成する上で、共通事項として必要とされる、生徒が意識しながら曲の構成や旋律、音の重なりを理解して歌うこと、または、曲の流れを感じ取りながら積極的に聴いたりする活動などが、十分に指導されるように工夫されています。また、全学年で、目次を学習内容に対応した3色の色分けを施して教材を分類するなど、学習内容と各教材の関連を意識させる配慮がなされています。以上の観点から、私は教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)

教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、教育出版を推薦する意見が多かったので、教育出版に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)
異議なしと認め、音楽の一般につきましては教育出版に決定いたします。
続きまして、音楽の器楽合奏について審議を行います。音楽の器楽合奏については、教育出版と教育芸術社の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(堀江委員)
はい。

(程野会長)
堀江委員。

(堀江委員)
旋律の特徴を生かして演奏することや各声部との関わり合いを感じ取りながら演奏することは、音楽活動の基礎的な能力を育成し、音楽によって生活を豊かなものにする力に繋がる重要な要素だと思います。編集趣意書の「編集上特に意を用いた点や特色」にもあるとおり、教育出版は、明確に「演奏の仕方を身につけよう」と明示し、基礎的な奏法を身につける学習を示しています。また、掲載されている楽器曲の曲数も豊富です。これらのことから、器楽を通して生徒の感性を育てることについて、より優れていると判断し、私は、教育出版を推薦します。

(程野会長)
器楽を通して生徒の感性を育てるという観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅野副会長)
はい。

(程野会長)
菅野副会長。

(菅野副会長)
生涯にわたって音楽文化に親しむための基礎を育てることは重要なことだと思いますが、教育出版では、楽器の構え方などの写真や図を参考にして、楽器の奏法が身につくように配慮されていると思いますし、楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりできるように工夫がされています。以上のことから、私は、教育出版がいいと思います。

(程野会長)
教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)
はい。

(程野会長)
板谷委員。

(板谷委員)
器楽合奏においても、和楽器や打楽器、リコーダーなどで、主旋律を生かした演奏や曲想を感じ取った演奏など、表現の工夫であったり、音色に気をつけて演奏したりする表現活動などを通して、我が国や郷土の伝統音楽など、音楽の良さを味わうことができるよう工夫されている点など、総合的に見て、教育出版を推薦したいと思います。

(程野会長)
教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)
なし。

(程野会長)
それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、教育出版を推薦する意見が多かったので、教育出版に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)
異議なしと認め、音楽の器楽合奏につきましては教育出版に決定いたします。
続きまして、美術について審議を行います。美術については、光村図書と日本文教出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(武田委員)
はい。

(程野会長)
武田委員。

(武田委員)
私は日文が良いと思います。美術の学習においても、地域とのつながりが大事だと考えるからです。日文は、北海道と関わりのあるアイヌ文化や北海道出身の作家や彫刻、シンボルマークなどを大きく取り上げ、学びが生活に結び付くように工夫しています。こうした配慮のある日本文教出版を推薦します。

(程野会長)
学びが生活に結び付くような工夫という観点から、日本文教出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)
はい。

(程野会長)
佐々木委員。

(佐々木委員)
美術は、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質や能力を育成することが求められています。私は、視点の違いや構図を工夫した絵を描いたり、量感や動勢などを生かし、感情やイメージを立体に表したりする活動を取り上げている日本文教出版を推薦します。

(程野会長)
日本文教出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅原委員)
はい。

(程野会長)
菅原委員。

(菅原委員)
私も、日本文教出版を推薦したいと考えております。日文では、冒頭に「いろいろな私に出会う3年間の成長地図」を示して、3年間の学びが見通せるように構成されています。自分たちの学びが、どこに向かおうとしているのかをコンパクトに示していることは、目標を明確に共有できるという点で優れていると思います。このことから日本文教出版が良いと考えます。

(程野会長)
日本文教出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)
なし。

(程野会長)
それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、日本文教出版を推薦する意見が多かったので、日本文教出版に決定することですよろしいでしょうか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)
異議なしと認め、美術につきましては日本文教出版に決定いたします。
続きまして、保健体育について審議を行います。保健体育については、東京書籍と学研教育みらいの2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(山本委員)
はい。

(程野会長)
山本委員。

(山本委員)

保健分野における「傷害の防止」について、緊急地震速報が出されたときの行動について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する学習活動を設定するなど、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを学べるよう配慮されている学研教育みらいが良いのではないかと思います。

(程野会長)

傷害の防止という観点から、学研教育みらいを推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(小堀委員)
はい。

(程野会長)
小堀委員。

(小堀委員)

小学校での学びとの接続という観点で、保健分野において、小学校で学習した喫煙や飲酒の開始のきっかけや理由について振り返る学習をした後に、個人や社会的環境の要因、防止に向けた対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている学研教育みらいを推薦します。

(程野会長)

学研教育みらいを推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(大井委員)
はい。

(程野会長)
大井委員。

(大井委員)

私も、学研教育みらいを推薦したいと思います。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応という観点で、体育分野について両者を比較してみました。運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しく続けるポイントについて考え、大人になってもスポーツを継続するために必要な環境や工夫について発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動を設定するなど、より工夫がなされていると感じましたので、学研教育みらいを推薦したいと思います。

(程野会長)

学研教育みらいを推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、学研教育みらいを推薦する意見が多かったので、学研教育みらいに決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、保健体育につきましては学研教育みらいに決定いたします。

続きまして、技術家庭の技術分野について審議を行います。技術分野については、東京書籍と開隆堂の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(荻原委員)

はい。

(程野会長)

荻原委員。

(荻原委員)

技術分野の学習では、最終的に自分の生活とどのように結び付けていくかという視点が外せないと思います。開隆堂は、「生物育成の技術による問題解決」において、生活をよりよくする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確に説明したりするなど、身近な生活との関連を工夫しています。このことから、私は開隆堂を推薦いたします。

(程野会長)

身近な生活との関連の工夫という観点から、開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(加賀監事)

はい。

(程野会長)

加賀監事。

(加賀監事)

技術科では、生徒の学びが主体的に展開されることが望ましいと思います。各小項目の冒頭に授業の動機付けとなる「導入課題」や、学習を振り返り、学びを深めることができる「学習のまとめ」を掲載するなど、学習者の視点に立った流れを工夫しているという点から、私は開隆堂を推薦します。

(程野会長)

開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(福地監事)

はい。

(程野会長)

福地監事。

(福地監事)

私も、開隆堂が良いと考えます。開隆堂の教科書は、生徒の興味・関心を高めることができる写真やイラスト、図表、コラム等を各ページに多く掲載しています。このことは、実践的・体験的な学習活動や実習が多い教科書として、生徒の学習意欲を高めるために、とても大きな役割を果たすことになると思うからです。

(程野会長)

開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、開隆堂を推薦する意見が多かったので、開隆堂に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、技術家庭の技術分野につきましては開隆堂に決定いたします。

続きまして、技術家庭の家庭分野について審議を行います。家庭分野については、東京書籍と開隆堂の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

私は、開隆堂が良いと思います。中学校家庭分野の学習内容は「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の3つに分かれています。開隆堂の教科書は、シンプルにこの3つの内容構成になっていて、とても分かりやすいと思います。目次にも上の3つの区分が3色で示されていて、学習のプロセスが明確です。

(程野会長)

内容構成、学習のプロセスが明確という観点から、開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(水野委員)

はい。

(程野会長)

水野委員。

(水野委員)

私は教科書の使いやすさに着目してみました。その結果、開隆堂がより工夫されていると思います。「環境」「防災」「伝統文化」などのマークはもちろん、「暮らしの中のマーク」も多く紹介されています。また、「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされており開隆堂を推薦します。

(程野会長)

開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(三澤委員)

はい。

(程野会長)

三澤委員。

(三澤委員)

家庭科では、家庭や地域における生活から問題を見出していくことが求められています。開隆堂は、消費行動と地球環境、エネルギー消費と環境保全など、SDGsを取り上げ、世界の国々との連帯を意識した学びを工夫しています。このように、広い視野から学習を構成しているので、私は、開隆堂を推薦します。

(程野会長)

開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、開隆堂を推薦する意見が多かったので、開隆堂に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、技術家庭の家庭分野につきましては開隆堂に決定いたします。

続きまして、英語について審議を行います。英語については、教育出版と開隆堂の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(高橋委員)

はい。

(程野会長)

高橋委員。

(高橋委員)

英語科では、学校段階間の学びを効果的に接続させる必要があると考えています。小・中・高等学校で一貫した指導を前提としながら、言語教育の枠組みである五技能である聞くこと、読むこと、書くこと、会話をする、発表することの各領域に効果的に迫ることが大切です。その中で、学習課題を設定し、見通しをもたせることはもとより、スピーチ原稿を書いたり、グループで課題解決を図ったりすることなど、実戦的で使える英語表現や場面に対応した会話的な英語表現を育む工夫がなされている教育出版を推薦します。

(程野会長)

教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(堀江委員)

はい。

(程野会長)

堀江委員。

(堀江委員)

英語科では、日本の伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会に寄与する意識の高揚が求められますが、開隆堂では、「何のため」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動や、ディベートやプレゼンテーションを生かし、地元についてのPR活動につなげたり、国際社会に寄与したりする題材の配列が工夫されていることから、開隆堂が良いと思います。

(程野会長)

地元のPR活動、国際社会への寄与という観点から、開隆堂を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅野副会長)

はい。

(程野会長)

菅野副会長。

(菅野副会長)

今日、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、GIGAスクール構想等におけるオンライン授業の推進が求められていますが、基本に立ち返り、生徒が、教科書を自学自習の有効な補助とする必要があります。中でも既習事項の復習、予習に活用したり、4技能5領域のコツがわかる配慮をしたりするなど、学び方を学ぶような工夫がされていると思われる教育出版を推薦します。

(程野会長)

学び方を学ぶような工夫という観点から、教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(藤代委員)

はい。

(程野会長)

藤代委員。

(藤代委員)

英語科では、コミュニケーションに必要な知識と教養、社会への参画、環境の保全等に寄与しようとする態度の育成等が必要ですが、取り扱い内容や構成・排列、学びのユニバーサル等を総合的に判断し、教育出版が良いと思います。

(程野会長)

教育出版を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま4人の委員さんからご意見をいただきましたが、教育出版を推薦する意見が多かったので、教育出版に決定することよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、英語につきましては教育出版に決定いたします。

続きまして、道徳について審議を行います。道徳については、東京書籍と教育出版の2者に絞り込まれております。ご意見がございましたらお願いいたします。

(山本委員)

はい。

(程野会長)

山本委員。

(山本委員)

道徳においては、問題解決的な学習への対応も重要な視点であります。各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合えることができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように配慮がなされている東京書籍を推薦します。

(程野会長)

必要な資質・能力が養われるような配慮という観点から、東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)

はい。

(程野会長)

佐々木委員。

(佐々木委員)

道徳の学習では、自分の考えをもとに、書いたり、話し合ったりするなど、言語活動が大切であると思いますが、各学年に、考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている東京書籍が良いのではないかと思います。

(程野会長)

東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)

はい。

(程野会長)

板谷委員。

(板谷委員)

現実の困難な問題に主体的に対処することのできる実効性ある力を養う上で、いじめの問題への対応に関することは大切なものであると考えますが、東京書籍では、いじめの問題に関する教材を各学年とも集中して特集し、いじめの態様について考察するため、各学年でイラストやコミックスを活用し、自分事として考えやすく取り組めるよう工夫されています。そうしたことから、私は東京書籍を推薦いたします。

(程野会長)

東京書籍を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、ただいま3人の委員さんからご意見をいただきましたが、東京書籍を推薦する意見が多かったので、東京書籍に決定することによろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、道徳につきましては東京書籍に決定いたします。

これで、協議案第8号令和3年度から使用する中学校用教科用図書については、全て審議が終了いたしました。各種目の発行者名を確認いたします。国語については教育出版、書写については教育出版、社会の地理的分野については東京書籍、歴史的分野については東京書籍、公民的分野については東京書籍、地図については帝国書院、数学については東京書籍、理科については啓林館、音楽の一般・器楽合奏については教育出版、美術については日本文教出版、保健体育については学研教育みらい、技術家庭の技術分野については開隆堂、家庭分野については開隆堂、英語については教育出版、道徳については東京書籍、以上のとおり決定いたしました。

次に、協議案第9号令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する図書について審議を行います。前回の協議会において事務局から説明しましたとおり、令和3年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書一般図書採択参考資料令和2年6月北海道教育委員会作成の全ての図書を決定し、その後において採択権者の町村教育委員会において、他の教科書と一緒に採択していただき、各学校において、実際の児童生徒の障がいの程度や実態に応じ、その中から選定することで、とり進めていくことにしたいと思っております。ご異議ございませんか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、令和3年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書一般図書採択参考資料令和2年6月北海道教育委員会作成の全ての図書を採択することに決定いたします。以上で、全ての審議を終了いたします。

なお、本日決定されました教科・種目ごとの発行者の一覧表及び採択理由一覧につきましては、事務局において作成し、後日、8月中旬を目途に、各町村に送付したいと思っております。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

それでは、後日、各町村にメールで送付したいと思います。

次に、その他といたしまして採択事務文書の公表の方法についてを、事務局から説明いたします。

(事務局)

採択事務文書の公表の方法について」ご説明いたします。資料12ページの会議資料2をご覧ください。採択事務文書の公表につきましては、協議会規約第14条第2項の規定により、第12地区教科用図書採択に係る文書、資料等の公表取扱要綱を制定しているところであり、要綱では、公表する採択事務文書の種類や開示の方法、取扱い窓口について規定しておりますので、次のとおり進めてまいりたいと考えております。1点目の公表する採択事務文書につきましては、要綱第2条第1号の採択した教科用図書名及び会社名から、第6号の調査委員会の報告書までであります。従いまして、要綱上、協議会の議案は公表する文書には含まれておりません。2点目の開示の方法につきましては、要綱第3

条の規定により、閲覧または写しを交付することにより行い、閲覧につきましては、各町村の教育委員会事務局が開示の事務取扱窓口となります。ただし、写しの交付につきましては、協議会の会長の属する教育委員会、芽室町教育委員会が開示事務取扱窓口となりますので、写しの交付申請が他の教育委員会にあった場合には、芽室町に第1号様式の「開示請求書」を提出するようお伝えください。また、ホームページへの掲載につきましては、事務局を担当する町のホームページでの公表と、事務局のホームページへ全ての町村のホームページからリンクを貼るということでございます。3点目の公表の時期につきましては、会議録作成後に委員の皆様にご一読いただき、内容のご確認の後に、送付したいと考えております。8月31日までに各町村教育委員会において、採択を行わなくてはならないことから、すべての教育委員会が採択を終了してからこれらの公表に対応してまいりたいと考えております。今後につきましては、8月下旬に、委員の皆様にご第1回から今回まで協議会議事録をメールにて送信いたしますので、内容のご確認をお願いいたします。その後、要綱第2条に規定する公表する採択事務文書を閲覧用ファイルとしてまとめ、郵送したいと考えております。以上です。

(程野会長)

ただ今、事務局から説明しましたが、ご質問等はありませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

それでは、全ての議事が終了いたしましたので、以上をもちまして、令和2年度第6回第12地区教科書採択教育委員会協議会を終了いたします。

本日まで大変お疲れ様でした。